

食品リサイクルの課題 ～消費する立場から～

2013年5月27日
主婦連合会
有田芳子

1

1. はじめに

- 消費者市民社会と消費者行動
- 消費者市民団体の取り組み
- 食品リサイクルの課題

2

消費者市民社会

- 「消費者が、個々の消費者の特性及び消費生活の多様性を相互に尊重しつつ、自らの消費生活に関する行動が現在及び将来の世代にわたって内外の社会経済情勢及び地球環境に影響を及ぼし得るものであることを自覚して、公正かつ持続可能な社会の形成に積極的に参画する社会をいう

(消費者教育の推進に関する法律2条2項)」

3

消費者の意識や動向

- 家庭での食品ロス削減の現状

- ・ 食品ロス率は消費者意識の高まりもあって減少傾向。
- ・ 人口減少や高齢者増加により世帯での一人あたり食品の使用量が減少。

(消費者庁資料より)

4

消費者行動

- 家庭での食品ロスの現状
- ・家庭から出された生ごみのうち、食べ残しが38%・・・。
- ・その半分以上が手つかずの食品・・・。
- ・手つかずのまま廃棄された食品のうち、賞味期限前のものが約4分の1・・・。

(消費者庁資料より)

5

消費者団体の取り組み 食品ロス削減に関する取組

(食料自給率向上、食育)

- フード・アクション・ニッポン
生産者から消費者まで、関係者が一体となって推進する食料自給率向上に向けた取組に参加。国産農産物を食べ、食べ残しや食品の無駄な廃棄を減らす。

6

食育フェスタ



生産者との交流



主婦会館プラザエフでの 農産物即売



9

被災地農産品販売の取り組み



10

食品リサイクルサロン

“四ッ谷カフェ” inプラザエフ

【サロンの目的】

「食品廃棄物の減量や食品リサイクルは、わたしたちの毎日の生活の中での料理や食事の仕方と深く関わっている。現在、食品廃棄物のリサイクルは、堆肥化、飼料化、バイオマス燃料化などの手法により活用され、最終的には農業の世界を経て、私たちの食べ物になってもどってくる。このサイクルの進展には消費者の理解と協力が不可欠」として行っている。

11

食品リサイクル飼料化工場見学会



12

食品リサイクル肥料化工場見学会



13

その他：フードバンク活動など

- 賞味期限が間近となった食品や、食品衛生上問題がない規格外品をフードバンク活動へ寄贈するなど、できるかぎり食品として有効に活用。
- 米国では年間200万トンの食品が有効活用されている。

14

消費者教育の必要性

- 消費者の自立を支援するために行われる消費生活に関する教育(消費者教育の推進に関する法律2条1項)
- 現代経済社会の問題の現れとしての消費者問題(サービス経済化・少子高齢化・情報化《ネットワーク化》・国際化《グローバル化》・**環境保全《循環型社会》**)
- 与えられる時代から選択する時代へ

(「消費者問題のとらえ方」慶應義塾大学大学院法務研究科 准教授 石岡克俊)

15

食品の期限表示

- 全ての加工食品に期限表示を義務付け(2001年)
- 品質保持期限を賞味期限に統一(2003年)
 - 「消費期限」と「賞味期限」の違いの明確化
 - 保存方法等に関する情報提供の促進
 - 期限表示ラベルの貼り替えに対する考え方の明確化
 - 事業者による期限設定の考え方の明確化
 - 1/3ルールが任意のものであることの明確化

16

食品ロス削減に向けた取り組み

- 食品ロス率の高い単身世帯に対する取り組み
- 賞味期限の正しい理解。
- 利害関係者としての消費者ではなく、消費する対象として広い意味での消費者は食品関連事業者も含め消費者。←食品関連事業者の消費者教育は？

17

商慣習の見直しで食品ロス削減？！

- 賞味期限の見直し？！
- 表示方法の見直し？！
- 利害関係者としての消費者意見の反映！
- 食品ロス削減に関する消費者理解の促進？
！
- その他の食品ロス削減に向けた取り組み？
！
- 循環型社会貢献企業の評価と支援！

18

参考：食品業界のキャッチコピーから

- おいしさ
- たのしい
- 自然
- 新鮮
- 健康

19

ご清聴有り難うございました



20